

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立松阪商業高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		生徒・教職員が「誇り」をもち、保護者・地域から「信頼」される学校
(2)	育みたい 児童生徒像	自己指導能力(そのとき、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定して実行する能力)を持った生徒
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒が主体的・対話的に学ぶ授業を目指した改善を進め、進路希望実現のための学力保障ができる教職員</li> <li>* 共通認識を基盤として個々の特性を活かした連携が図れ、生徒に寄り添ったきめ細かい指導ができる教職員</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全安心に過ごせる充実した学校生活と進路希望の実現を望んでいる。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒が安全安心な学校生活を送るとともに、進路希望の実現を期待している。</li> </ul> <p>&lt;地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒の公共心とマナーが育成され、専門学科としての専門性や特色を生かして地域の活性化に貢献してほしいと期待している。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;家庭&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全安心な教育環境と心身共に健康な生徒の育成</li> <li>* 進路希望を実現するための支援</li> <li>* 学校教育活動等の迅速な情報提供</li> </ul> <p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学力面、生徒指導面での中高の連携</li> <li>* 外国人生徒の指導のための一層の連携</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係機関、事業所との連携・協力の推進</li> <li>* 挨拶・身だしなみ等の指導</li> <li>* 学校教育活動等の情報発信</li> </ul>	<p>&lt;家庭&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学校の教育方針に対する理解と協力、家庭での基本的な生活習慣の教育</li> </ul> <p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 基礎学力の向上、継続的な指導のための個々の生徒の情報共有</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 本校の専門性や特色を理解したうえでの生徒の活躍の場の提供</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍の中においても、生徒活動はそれなりに保障できていることが伺える。</li> <li>○生徒の挨拶を始め、マナーがしっかりと指導できている。</li> <li>○スポーツ活動・文化活動に引き続き力を入れていただきたい。</li> <li>○コロナ禍の影響で、学校生活に支障をきたす生徒への対応を考えておく必要がある。</li> </ul>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 単位制高校としての利点を生かし、少人数や習熟度講座を編成し、学習者へのきめ細かな指導を行い、希望進路の実現を図っている。</li> <li>* 募集定数の確保が難しい状況が続くため、これまで以上に中学生やその保護者に学校の魅力を伝える必要がある。</li> <li>* 基礎学力の定着・向上に向けて、生徒自身が自ら学習する習慣を身につけさせる仕掛けを考えていく必要がある。</li> <li>* 「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめの防止及び早期発見に努め、生徒が望ましい人権意識をもち、安全安心な学校生活を送ることができるように取り組む必要がある。</li> <li>* グローバル教育を推進するため、国際交流の機会を拡充する必要がある。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 伝統ある地域の商業高校として、地元産業界等と強いネットワークで結ばれている。</li> <li>* 学習活動や部活動、挨拶を始めとする礼儀や身なりなど、地域から一定の評価が得られており、引き続き基本的な生活習慣や社会性を身につけさせる取組を進める必要がある。</li> <li>* 商業教育の拠点校として、高い専門性を有した教職員が配置され、スペシャリストを育成するノウハウを備えている。</li> <li>* 生徒が主体的に学ぶことが出来る授業の構築を目指して、授業研究や授業改善の取組を推進することが求められる。</li> <li>* 教職員の負担が増え続ける中、働き方改革を見据えた業務改善や精選が急がれる。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 生徒の「自己指導能力」の向上を図る。</li> <li>* 「命の尊さ」や「いじめ防止」を様々な機会や方法を用いて繰り返して伝えていく。</li> <li>* 生徒が主体的・対話的に学ぶ授業を目指した授業改善を推進する。（「授業アンケート」結果等の活用）</li> <li>* 高校生としての学力保障を進め、自己実現に向けた生徒自身による進路決定意識を養う。</li> <li>* 学校の魅力化・特色化の一環として高度な資格取得を進め、資格を活かせる進路指導を行う。</li> <li>* グローバル教育推進のための国際交流の充実を図る。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 感染症予防に向けた措置を講じつつ、臨機応変に年間計画の見直しを図る。</li> <li>* 不祥事根絶への取組として「学校信頼向上委員会」を立ち上げ、「信頼される学校であるための行動計画（松阪商業高校）」に基づいた取り組みを推進する。</li> <li>* 学校安全衛生委員会において働き方改革の推進を図り、過重労働時間の削減を進める。</li> <li>* 外部関係機関との連携による教育活動展開を進め、生徒が校外で学ぶ場を創出していく。</li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
規律ある行動の徹底	(1) 儀式、集会を通して集団の一員としての自覚を深めさせ、迅速な整列・行動を周知徹底させる。	(1) コロナ禍の影響で儀式、集会とも縮小した形で行われたが、実施の際は、迅速な整列・行動を周知徹底が図れた。	
防災訓練の実施	(2) 防災訓練を通じて、集団行動の重要性を認識させ、危機管理や防災についての意識の高揚を図る。	(2) 緊急地震速報の発報ミスもあったが、担任の指導により防災に対する意識の高揚を図ることが出来た。	
保護者アンケートの実施	(3) 2学期末に保護者対象アンケートを実施し、分析・考察を行い、本校教育活動に活かす。	(3) 132名(27%)の保護者から回答をいただいた。『子どもは明るく安心な学校生活を送っている。』に対して肯定的な意見が93.2%であった。ただ、今年度はWebを利用したアンケートを実施したが、回収率はここ数年の50%以上に比べて、低くなった。	

<p><b>百周年記念式典の実施</b></p> <p><b>姉妹校交流事業の在り方についての考察</b></p>	<p>(4)同窓会職員とタイアップして百周年記念式典を実施する。</p> <p>(5)新北市立三重高級商工職業高校との交流事業をどのような形で行うのが円滑かつ効果的であるか考察する。</p>	<p>(4)延期となっていた式典を実施することが出来た。記念映像を作成・上映し、思い出に残る式典となった。</p> <p>(5)今年度もコロナ禍の影響で進展せず。</p>	
<p><b>家庭学習習慣の定着</b></p>	<p>(1)学習時間調査の実施</p> <p><b>【目標】</b> 家庭学習の大切さを意識づけ学習習慣の定着を図る。</p> <p><b>【取組内容】</b> 生徒に「学習時間調査シート」を記録させ、生徒自身が生活時間を振り返ることで学習時間の確保につなげるとともに、生徒の生活時間を診断し、個別面談等で活用する</p> <p><b>【活動指標】</b> 年度末に教員の自己評価で、実施したクラス数を100%にする。</p> <p><b>【成果指標】</b> 生徒の1日の家庭学習時間が、1時間以上となる生徒の割合を70%にする(考査期間を除く)。</p>	<p>(1)学年主任が中心となり、各学年で家庭学習時間調査を実施した。</p> <p>実施したクラス数は100%であった。</p> <p>1日当たりの家庭学習時間が1時間以上となる生徒の割合は、考査期間に調査したクラスでは96%、考査期間を除いた場合の割合は51%であった。</p>	
<p><b>授業アンケートの実施</b></p>	<p>(2)授業アンケートの実施</p> <p><b>【目標】</b> 生徒に「授業アンケート」を実施して、授業のさらなる改善に活用する。</p> <p><b>【活動指標】</b> 授業アンケート実施率100%を目標とする。</p> <p><b>【成果目標】</b> 「授業の理解度」の肯定意見を80%以上、「質問ができる雰囲気」の肯定意見を70%以上にする。</p>	<p>(2)授業アンケートの実施率は95%であった。(昨年度75%)</p> <p>授業の理解度は83%の肯定的意見であった。(昨年度は82%)</p> <p>質問ができる雰囲気は89%であった。(昨年度95%)</p>	
<p><b>将来の進路への意識の向上</b> (1・2年生)</p>	<p>外部講師等を活用した進路講話・ガイダンスを実施する。また、「進路ノート」を活用し、キャリア・パスポートを継続的に行う。</p>	<p>1・2年生とも各学期に進路ガイダンスを実施した。企業や上級学校の担当者から直接ガイダンスを受けることによって、進路意識の向上を図った。</p> <p>また、1年生は入学時から進路ノートを活用し、毎月の頭髪服装指導と並行してキャリア教育を実施している。</p>	
<p><b>生徒指導の充実</b></p>	<p>丁寧な頭髪服装指導や全校集会・学年集会の実施や、登校・下校・校外指導を実施により、自発的な「見た目」向上とマナーの向上の意識付けを図る。</p> <p><b>【活動指標】</b> 頭髪服装指導日までに十分な準備のできる生徒や、日ごろから社会的マナーを心がける生徒を増やすため、啓発に力を入れる(講話・通信等)。</p> <p><b>【成果指標】</b> 頭髪服装指導における不合格生徒の数と地域からの苦情の件数を、昨年度よりも20%減を目指す。</p>	<p><b>【活動指標】</b> 全校生徒が、頭髪指導の時期だけでなく、日頃から端正な頭髪服装を心がける生徒の意識がかなり定着してきた。</p> <p><b>【成果指標】</b> ・制服の着こなしや生徒の社会的マナーは、学校内はもちろん、校外でも正しく行動できており、学校のイメージをさらに変えることが出来た。</p>	

<b>生徒会活動の充実</b>	<p>(1) 生徒主体でコロナ禍に対応した生徒会行事を運営していく。</p> <p>(2) クラブ活動の活性化に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(1) 生徒が主体的に各行事(体育祭・文化祭・クラスマッチ・壮行会等)を運営し、すべての生徒が楽しんで思い出に残るような行事を企画運営する。</p> <p>(2) 生徒会冊子「松籟」で活動報告及び校史の記録とする。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(1) アンケート等を活用し、修正等を行う。</p>	<p>(1)コロナ下で変更を余儀なくされた行事もあるが、工夫しながら一定の成果を得た。</p> <p>(2)クラブ活動活性化のために予算を増額した。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(1)生徒会役員が中心となって各種行事を企画し、生徒全員が楽しめる内容を工夫して運営した。</p> <p>(2)生徒会冊子「松籟 58号」を発行できた。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(1)アンケート調査は実施できなかったが、生徒会役員の意見を参考にした活動ができた。</p>	
<b>保健指導の充実</b>	<p>(1) 新しい生活様式を理解・実践し、疾病・感染症の予防に努めさせる。</p> <p>(2)心の自己管理能力を高めさせ、望ましい人間関係を維持させる。</p> <p>(3)男女の特性や多様化する性への理解を深めさせる。</p> <p>(4)学校生活を安全に健康に過ごせるよう環境美化に取り組む。</p>	<p>(1)新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、毎日の検温や体調チェック等の自己の体調管理を継続して行うよう指導した。</p> <p>感染予防対策については保健だより等を通して、繰り返し生徒に情報提供を行い、感染リスクを抑える行動をとることの大切さを伝えた。</p> <p>保健委員会による保健だよりの発行や文化祭での企画展示による、保健（主に感染症予防）関連の情報の発信をすることができた。</p> <p>(3)心身の発達に合わせた性に関する講演を行い、正しい理解を深めることができた。</p> <p>(4)疾病・感染症の予防のため、手指消毒が常時できるよう、環境を整えるよう努力した。</p>	
<b>人権教育の推進</b>	<p>人権教育推進計画に基づき、HR活動や教科学習、講演会などとおして人権尊重の精神を培い、周囲にある課題に気づき人権意識を持って自ら自立した行動のできる生徒を育成する。</p> <p>【活動指標】</p> <p>「人権室だより(通信)」の発行等により、フィードバックの機会を設け、人権学習の定着を図る。</p> <p>【成果指標】</p> <p>通信の発行年間5回。</p>	<p>【活動指標】</p> <p>「人権室だより(通信)」の発行により、フィードバックおよび事前・事後学習の機会を設け、人権学習の定着を図った。</p> <p>【成果指標】</p> <p>通信発行年間5回。</p>	
<b>図書館利用教育</b>	<p>(1) 学校図書館の利用の意義を理解し、またマナーの習得等、生涯教育の場となる公共図書館等の利用につながるような基礎的知識の習得を目指す。</p> <p>(2) クラス生徒への働きかけのきっかけとなるように、図書委員会活動を活性化させ、親しみやすい学校図書館を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(1) マナー指導や図書委員会による「図書館通信」の発行、ショーウィンドウ展示等を行う。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(1) 図書館利用にあたってのマナー指導(随時)を行う。</p> <p>(2) 図書委員会による「図書館通信」を発行(年5回程度)する。</p>	<p>(1)1学年全クラスに対して、クラス別に図書館オリエンテーションを行い、図書館利用の意義やマナーなどを指導した。</p> <p>(2)図書委員会活動として、「図書館通信」を年5回発行し、ショーウィンドウ展示を定期的に行った。また、ビブリオバトル、文化祭参加などの活動を行った。</p>	

<p><b>教育課程・学習指導</b> <b>キャリア教育</b> (情報ビジネス科)</p>	<p>【取組内容】 (1)1年次の基礎基本の指導を大切にす。 (2)学習した知識を生かすため外部教育力を導入するなど生徒のスキルアップに努める。 (3)ビジネスに関する基礎的、基本的な知識と技術の定着をはかり、幅広い科目で上位級合格を目指す。</p> <p>【活動指標】 生徒の興味・関心を持たせることを目指した授業を展開するために、ChromebookやプロジェクタなどICT機器を活用した授業を推進する。また、高専連携や外部講師を活用した授業を推進する。検定について、全商検定だけでなく、公的・民間主催の検定の合格者数増加を目指す。</p> <p>【成果指標】 【取組内容(1)】について、検定80%以上合格率を目指す。 【取組内容(2)】について、外部教育力を活用し、年1回以上外部講師による講習会を行う。 【取組内容(3)】について、合格率をあげる。</p>	<p>(1)担当する先生方の熱心な指導のお陰で達成することができた。 (2)商業科の授業として4回以上、商業系クラブにおいても3回以上行うことができた。 (3)コロナ禍による自宅学習の影響があるにもかかわらず、一昨年並みに全商1級検定合格者を輩出することができた。</p>
<p><b>キャリア教育</b> (商業科)</p>	<p>実践的なビジネス教育を展開するために、企業、外部一般団体、専門学校との連携を一層強めた商業教育を展開する。企業や地域で学ぶ機会を増やすことで、地域に根ざした開かれた商業高校を目指す。</p> <p>【活動指標】 感染症拡大防止対応をしつつ、地域連携の機会を増やす。</p> <p>【成果指標】 昨年度並みの実施回数を目指す。</p>	<p>SBP活動や課題研究「松阪商入学」を中心に、コロナ禍においても昨年度以上の事業に取り組むことができた。中でも、SBP活動は三重県知事訪問を行い、本校商業科の取組をPRすることができた。</p>
<p><b>教育課程・学習指導</b> <b>キャリア教育</b> (情報システム科)</p>	<p>情報技術に関する基礎的、基本的な知識と技術の定着をはかり、高度な資格試験合格を目指す。</p> <p>【活動指標】 1年生・2年生情報システム科の授業内で、経産省ITパスポート試験合格を目指した授業を展開する。</p> <p>【成果指標】 経産省ITパスポート試験合格者数20名を目指す</p>	<p>個々の生徒の学習進度に応じた授業展開ができた。 国家試験合格者数 ITパスポート試験7名(3月に受検予定の26名を除く) 基本情報技術者試験9名 応用情報技術者試験1名</p>
<p><b>キャリア教育</b> (国際教養科)</p>	<p>(1)生徒全員による「GTEC」検定高スコアや実用英語技能検定の取得を目指す。</p> <p>【活動指標】 (1)の取組を達成するために、授業等で英語の4技能5領域の育成を目指した授業を展開する。さらに、8月に1年生と2年生を対象に「GTEC」検定を実施する。</p> <p>【成果指標】 実用英語技能検定取・・・2級40%、準2級100%(卒業時)「GTEC」検定・・・スコア690以上</p>	<p>(1)実用英語技能検定【3年生 準1級3名7.5% 2級25名62.5%、準2級8名20%】 「GTEC」B1以上のスコア取得者【1年生受検者9名:取得者4名、2年生受検者8名:取得者2名】 「GTEC」690以上のスコア取得者【2年生7名21.9%】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「GTEC」は希望受検に変更。 ※「%」は全て、各学年学科生徒数全体に対し</p>

	<p>取得100%(2年次)</p> <p>(2)小学校との連携を図ることで地域との結びつきを深めるとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(2)小学校での英語活動を実施する。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(2)生徒アンケート「異なる年齢の人達とのコミュニケーションがとれた。」「小学生に英語を学ぶことの楽しさを伝えることができた。」「肯定的意見80%以上</p>	<p>での2月現在の割合。</p> <p>(2)生徒意見・・・肯定的意見 93%【授業後振り返りより・・・異なる年齢の人達とのコミュニケーションのとり方が学べた。/小学生に英語を学ぶことの楽しさを伝えることができた。→「できた・少しできた」と回答した生徒は93%】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、交流活動は対面からオンラインに変更。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**改善課題**

<p>□国際教養科</p> <p>実用英語検定準2級以上取得 3年100%(今年度90%)、「GTEC」のスコア690以上取得 100%(2年次)(今年度21.9%)を目指す</p> <p>・効果的に英語の4技能5領域の育成を目指し、ALTとの連携やICTの活用を進めていく必要がある。</p> <p>・今後のオンラインでの交流活動が増えていくことも考え、ICTの有効活用をさらに進めていく。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**(2) 学校運営等**

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<b>働きやすい職場環境づくり</b>	<p>(1)学校行事や既存の取組の精選を進める。</p> <p>(2)定時退校日に退校できた職員の割合を80%以上にする。</p> <p>(3)部活動休養日を週1日設定し、休養日取得率を100%にする。</p> <p>(4)放課後開催・60分以内終了の会議の割合を70%以上にする。</p> <p>(5)年360hを超える時間外労働者数を0人にする。</p> <p>(6)月45hを超える時間外労働者数を0人にする。</p> <p>(7)一人当たりの年間休暇取得日数を10日以上にする。</p> <p>(8)一人当たりの月平均時間外労働を30時間以内にする。</p>	<p>(1)コロナによる予定変更も利用し、行事等の必要性の見直しを継続して実施している。</p> <p>(2)95%で目標達成。</p> <p>(3)94%で未達成。引き続き、設定した休養日の取得を促していく予定。</p> <p>(4)86%で目標達成。</p> <p>(5)8人で未達成。引き続き、時間外労働の削減を呼び掛ける予定。</p> <p>(6)月平均3.1人で未達成。引き続き、時間外労働の削減を呼び掛けていく予定。</p> <p>(7)21.0日で目標達成</p> <p>(8)11.4時間で目標達成 (数値は2月17日時点)</p>	
<b>不祥事根絶</b>	<p>・学校信頼向上委員会を設置し、学校関係者等との意見交換を行い、効果的な取組の検討を進める。</p>	<p>学校信頼委員会を立ち上げる一方、職員会議や校内ネットワークで不祥事根絶に向けた情報発信を適宜行った。</p>	
<p><b>総務業務の円滑化</b></p> <p><b>学校教育活動の広報</b></p>	<p>・業務分担の明確化および業務のスケジュール化を図り、進捗管理を行う。</p> <p>・分掌、学年、教科、事務と密接な連携を図り、共通理解のもと、円滑な教育活動の推進に努める。</p> <p>・PTA総会、PTA役員会、VIVA松商等を通じて、PTAの密接な連携をはかる。</p> <p>・オープンスクール、学校説明会、授業公開を実施する。</p>	<p>PTA総会については書面議決となり、すべて議案は可決された。(生徒数減に伴う学科委員の廃止が可決された。)</p> <p>VIVA松商では、生徒会役員からPTA役員へ体育祭時の日差し対策などの要望が出されたオープンスクールはできる限りの感染対策をした上で実施し、521名の参加となった。また、クラブ紹介ビデオを作成した。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校紹介パンフレットを作成し、中学生に本校での学習や部活動について知ってもらう。</li> <li>・学校 HP の更新を随時進め、最新の情報提供を行い、広報活動の充実を図る。</li> <li>・携帯メール配信システムを有効活用し、緊急連絡体制の整備を図るとともに、本校教育活動の広報に活用する。</li> </ul>	<p>授業公開については中学校保護者 10 名・本校保護者 4 名と少なかった。</p> <p>学校 HP の更新、緊急連絡メール・絆ネットの活用については適宜できた。</p>
<b>授業改善の取組</b>	<p>授業ノウハウの共有</p> <p><b>【目標】</b> 教員が授業の工夫や授業改善を公開、その工夫や改善方法を共有する。</p> <p><b>【取組内容】</b> 年度当初に全教員が授業改善設定シートを作成してデータを共有した後、年度末に生徒対象の授業アンケートの結果も活用してノウハウを共有し、次年度の自身の改善につなげる。</p> <p><b>【活動指標】</b> 設定された改善の工夫に対して、年度末の自己評価で、次の 3 点がすべて評価される。 (1) 実施の状況(出来た、できなかった、途中で中止した) (2) 成果の有無(効果があった、効果がなかった) (3) 改善策の分類(継続、棄却、修正継続)</p> <p><b>【成果指標】</b> 教員による上記の自己評価のうち(2)については、生徒による授業評価など担当者が実施してもよい。</p>	<p>授業改善の取り組みの参加率は、授業改善シートの作成を行った教員の割合は 100%、年度末に自己評価を行った教員の割合は 96%であった。(昨年度 79%)</p> <p>特に、①検定対策 ②感染対策をしながらのペアワーク・グループワーク ③紙ベースの教材とICT教材を組み合わせた授業方法の研究 ④プレゼンテーション能力を高める取り組みについて、先生方がお互いの工夫を公開することで、授業改善につなげるヒントを教員間で共有できた。</p>
<b>進路指導を教職員全体で取り組む体制づくり</b>	<p>面接指導や課外授業など、教職員全体で計画的に生徒の進路指導を行う。</p>	<p>8 月下旬に就職希望者、10 月上旬に進学希望者を対象に、全職員による面接指導を実施した。また、夏季休業中の 2 週間、課外授業を実施した。</p>
<b>生徒指導における組織力向上</b>	<p>(1) 生徒指導におけるチームワーク力の向上。</p> <p>(2) 特別指導、頭髪服装、交通マナー、特別アルバイトなどの指導において情報共有し、共通認識を持って生徒に対応する。</p> <p><b>【活動指標】</b> (1) 生徒指導、学年団、各分掌との情報共有の場を作る。</p> <p><b>【成果指標】</b> (2) 課題のある生徒への共通認識を持ち、教職員全体の組織力の向上を成果指標とする。</p>	<p>・職員会議・朝の打ち合わせの場・各学年室の場で、日頃の生徒の様子や状態を報告することで、情報共有をしてもらった。その上で、全職員の共通理解のもとで、生徒指導にあたることも出来た。</p>
<b>保健部の活動</b>	<p>(1) 生徒の気持ちに寄り添い、望ましい学校生活を送れるように支援する。</p> <p>(2) 保健(新型コロナウイルス感染症対策)に関する情報提供と健康増進のための情報を発信する。</p> <p>(3) 健康診断と救急処置及び日常的な保健指</p>	<p>(1) (5) 心身の不調や悩みをかかえている生徒が多く、スクールカウンセラーへとつながることができた。</p> <p>(2) 毎日の検温を促し、自己の体調管理の大切さを伝えるため、保健(主に感染症予防)関連の情報の発信を行った。</p> <p>(3) 日常の健康管理と負傷後の対処について</p>

	<p>導を行う。</p> <p>(4)特別支援の必要な生徒の情報共有と支援活動を行う。</p> <p>(5)心身の健康教育と、教育相談による心のケアを充実させる。</p> <p>(6)校内の環境美化活動とごみの分別を徹底する。</p>	<p>理解を促すことができた。</p> <p>(4)特別な支援を必要とした生徒に対し、現状に合わせた支援・情報の共有と提供を行い、外部機関や関係分掌と常に連携をとり、支援活動を継続することができた。</p> <p>(6)感染症予防のため、関係各所に協力を得ながら、状況に合わせた環境美化を行うことができた。</p>	
<b>人権教育 研修</b>	<p>(1)教職員の人権意識を高めるため、現職教育の開催や校外研修への積極的な参加を促進する。</p> <p>(2)様々な課題を持った生徒の情報を共有し、ケーススタディにおいて教職員の人権意識を高め、生徒に必要なサポートができる体制作りを行う。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(1)人権教育推進計画に根ざした現職教育の実施。</p> <p>(2)人権教育推進部と保健部とのタイアップによる生徒の情報共有会議の開催。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(1)現職教育の実施</p> <p>(2)情報共有会議の開催</p>	<p><b>【活動指標】</b></p> <p>(1)人権教育推進計画に根ざした現職教育を実施。</p> <p>(2)保健部とのタイアップによる生徒の情報共有会議を規模を縮小して開催。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(1)現職教育実施3回。</p> <p>(2)情報共有会議は随時開催。</p>	
<b>学校図書館の 情報提供</b>	<p>各教科との連携を密にし、アクティブラーニング活動につながる教育支援の充実に努める。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>図書館利用につながる案内とサービス(資料提供、レファレンスサービス)を行う。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>必要に応じた案内とサービス(随時)を行う。</p>	<p>年度初めに職員向けの「図書館利用案内」(授業利用支援のご案内)を配布し、教科担当者からの相談に合わせて、図書館資料を活用した教育支援を随時行った。</p>	
<b>情報提供 (商業科)</b>	<p>中学校の進路説明会における内容の充実と情報提供を組織的にできる仕組みを整備する。</p> <p>在校生の取り組みを積極的にプレスリリースし、マスコミをとおして生徒の頑張りを配信していく。</p>	<p>校内においては「商業科ニュース」を複数回発行し、商業教育の周知を図った。</p> <p>SBP活動や国家資格の合格を複数プレスリリースした</p>	
<b>オンライン授業体制の構築</b>	<p>オンライン授業を継続的に行える環境整備に努める。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(1)学力補充のため、教科作成のコンテンツの配信を行う。</p> <p>(2)ICT環境の整備をさらに進める。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(1)各教科で授業コンテンツを制作し、配信する。</p> <p>各HRのプロジェクタ、クロームブックの活用率の向上。</p>	<p>教員向けの活用方法を分野別で解説した動画を作成した。</p> <p>クロームブックを教員全員へ貸し出し、9月のオンライン授業へ活用できた。</p>	
<b>組織運営 (国際教養科)</b>	<p>国際教養科生徒の学力向上や進路実現に向けて、きめ細かな指導を行う。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>生徒の学力向上のための情報共有を行い、指</p>	<p>(1)情報共有会議 5月27日、7月7日、12月21日、計3回実施 ※3月に4回目を実施予定 内容:国際教養科生徒の情報共有(学習状況、検定結果等)、及び指導方法を検討・日本</p>	



	<p>導方法を検討する。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(1) 学期に1度、国際教養科委員会等の情報共有会議を開催する。</p> <p>(2) 生徒の学力向上や進路実現に向けて課外授業や個別指導を実施する。</p>	<p>語教育担当者との連携 → 外国籍生徒への指導方法について改善案等が提案</p> <p>(2) 面接指導、小論文指導を実施(3年生40名全生徒)・その他: 企業訪問、SSW との連携等 → 第1志望就職【内定5名100%】 第1志望進学【合格31名85.7%】2月9日現在</p> <p>※第1志望進学を目指し2月中に3名が受験予定</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 改善課題

<p><input type="checkbox"/> 生徒指導部 平素から管理職・学年主任・担任・分掌とのコミュニケーションを大切に、生徒情報を共有出来るように更に努める。</p> <p><input type="checkbox"/> 国際教養科 すべての生徒の進路実現のために、基礎学力や学習習慣を十分に身につけていない生徒や外国籍生徒に対する支援体制（教科、学年、分掌、日本語教育担当者及びSSW等との連携）をさらに充実させていく</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートの実施率が上がっており、授業改善に活かすという目的が浸透していると思われる。結果をどのように活用するかが今後の課題ではないか。</li> <li>・時代が変わっていく中で、スピード感をもって学校としても対応していく必要があるのではないか。</li> <li>・コロナ禍で子供同士の関わりが薄れているが、子供自身に考えさせたり、ソーシャルスキルを向上させたりすることが必要ではないか。</li> <li>・授業で学んだことが、社会でどのように活用できるかを子供に理解させる必要がある。</li> </ul>
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を踏まえた授業改善と令和4年度入学生から導入されるBYODの授業中での使用を推進していく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的で縮小や中止となった学校行事のあり方について検討を進める。</li> </ul>
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学科のスタートに併せて、より特色を出せる内容を検討し、新たなる松阪商業高等学校の魅力を発信していく。</li> <li>・地域に根ざした商業高等学校としての存続を図り、これまでの資産を活かしつつ、コロナ禍の中における地域連携や地域交流の方法を検討していく。</li> </ul>